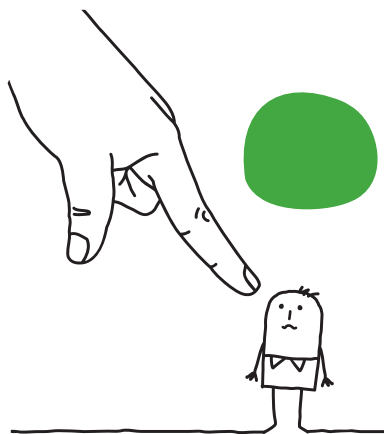


妄想について

PARANOIA



なぜこうなってしまうのか？

アルツハイマー病や認知症の人にみられる傾向：

- 物を失くすと、盗まれたと思いつまむ。
- 言われたことを忘れ、もう1度言われるとそれが嘘だと思いつまむ。
- 配偶者の自分に対する態度が変わったと感じ、それは浮気をしているせいだと思いつまむ。
- 何が現実で何がそうでないかを判断できなくなる。

アルツハイマー病または認知症の人は、病気の影響で自分に愛情を注ぎ、大事にしてくれる人にまで疑いを持ったり怖がったりすることがあります。彼らの世界は混乱しているように見え、人が盗みを働いている、または嘘をついていると思いつまみ、その人を責めることがあります。これらは一般的な症状であるため、個人的な攻撃ととらえないようにしてください。

あなたにできることは？

安心させる

- 落ち着いた態度で優しい声で話す。
- 否定しない。彼らにとっては現実に行き始めていること。
- 安全で、心配する必要はないと理解させる。
- 嫌がらないようなら、手を握るかそっと抱きしめる。

他に注意を向ける

- 好きな食べ物やアクティビティを勧める。
- 無くしたものを探す手助けをするか、探す間に目に入るもの、写真や本などその他の家の中にあるものについて話をしてみる。
- 散歩に連れ出すか、別の部屋に連れて行く。
- 家族や音楽、趣味などその人にとって大事なことについて話をする。

周りの環境を落ち着いた馴染みのあるものにする

- 財布や鍵、アクセサリなど、よく紛失するものは予備を用意する。
- 落ち着いた静かな環境を保つ。
- まだ覚えていて大切にしているものを周りに置いておく。
- ドラマやニュースに動揺するようなら、テレビやラジオの電源を切る。
- 必要なら何度でも自分や周りの人が誰なのか説明する。
- 良い思い出のある昔の音楽を流す。

その他の方法

- 妄想の様子を記録しておき、担当医に相談する。
- 診断書や介護人との関係、代理委任状など、警察に提示できる法律関連の書類を用意しておく。
- あなたの気持ちやストレスを素直に話せる友達を見つけるか、サポートグループに参加する。
- 時に、物は本当に盗まれることがあることを覚えておく。



844.HELP.ALZ
AlzheimersLA.org

© 2022 Alzheimer's Los Angeles
Supported by DHHS, ACL
(#90AL0002-01-00 & 90ADPI0049)

